

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-531808(P2004-531808A)

【公表日】平成16年10月14日(2004.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2004-040

【出願番号】特願2002-578179(P2002-578179)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 17/30

G 06 F 12/00

【F I】

G 06 F 17/30 3 1 0 A

G 06 F 12/00 5 1 3 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月15日(2005.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データベースから表示項目を選択する装置であって、各項目ごとに、その項目とデータベース内の他の項目との類似度を示すデータを記憶するデータ記憶手段と、

前記データベース内の第1の項目を識別するユーザ入力を受信する入力手段と、

第1の項目に対して所定の類似度をもつ進化基準を特定する進化プロセッサ手段と、  
データベースから、進化基準を満たしている1つ以上の異なる項目を識別することと、

異なる項目の中から第2の項目を選択する選択手段と、

選択された第2の項目を識別する出力を表示する出力手段とを含む装置。

【請求項2】

複数の項目を表示する表示手段を含み、入力手段が、表示項目の中の1つを第1の項目に選択する手段をもち、出力手段が、選択されずに最も長い間表示されていた項目を、選択された第2の項目に置き換えるように、表示手段を制御する手段をもち、さらに選択された項目の表示を生成する手段を含み、最初はゼロに設定される経過期間値を、各表示項目に割り当てる手段と、各表示項目の経過期間値を定期的にインクリメントする手段と、所与の表示項目を識別する入力手段が入力を受信したことに応答して、この項目の経過期間値をゼロにリセットする手段と、所定値よりも大きい経過期間値をもつ表示項目から削除する手段とをさらに含む請求項1記載の装置。

【請求項3】

データ記憶手段が、属性の組の各々に、各項目特定値を割り当てる手段を含み、2つの項目間の類似度が、2つの項目が共通の値をもつ属性の数によって識別され、第1の項目の属性値の組から所定度分異なる属性値の組を生成する属性進化生成手段と、生成された組に対応する属性値をもつ第2の項目をデータベースから選択する選択手段とをさらに含む請求項1または2記載の装置。

【請求項4】

データ記憶手段が、属性の組の各々に、各他の項目との類似度を定める各項目特定値を割り当てる手段を含み、進化基準手段が、第1の項目に対する所定の類似度を特定する進化

基準を定める手段を含む請求項 1 または 2 記載の装置。

【請求項 5】

属性値の生成された組が、2つ以上の前の入力の属性にしたがって決定され、装置の各動作サイクルにおいて行われる選択を記録する記録手段を含み、属性生成手段が、所定回数前からの装置の動作サイクル内で選択されたと記録されている項目の属性に関する属性の組を生成するようにされている請求項 3 記載の装置。

【請求項 6】

各属性に重み付け値を関係付ける手段と、第1の項目に関係する入力を受信すると、第1の項目に関係付けられた属性の重み付け値を増加する手段とを含み、第2の項目を検索する手段が、より大きい重みを割当てられた属性の項目が、より小さい重みの属性の項目よりも選択の可能性がより大きくなるように動作する請求項 3 ないし 5 のいずれか1項記載の装置。

【請求項 7】

データベースから表示項目を選択する方法であって、

各項目とデータベース内の他の項目との類似度を示すデータを生成するステップと、  
前記データベース内の第1の項目を識別する入力を受信するステップと、  
第1の項目に対する所定の類似度を識別する進化基準を生成するステップと、  
データベース内で進化基準を満たしている項目を選択するステップと、  
選択された第2の項目を表示するステップとを含む方法。

【請求項 8】

複数の項目が表示され、第1の項目が、表示されている項目の中の1つであり、複数の表示項目の中の1つを、選択された第2の項目に置き換え、各表示項目に、最初はゼロに設定され、かつ定期的にインクリメントされる経過期間値を割り当て、所与の表示項目が選択されたときに、その項目の経過期間値をゼロにリセットし、経過期間値を使用して、表示部から削除する項目を識別する請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

各項目が、属性の組の各々に特定値を割り当てて、項目間の類似度を、項目が共通の値をもつ属性の数によって識別し、第1の項目の属性値の組から所定度分異なっている属性値の組を生成することによって、進化基準を選択し、データベースから、属性値の生成された組に対応する属性値をもつ項目から、第2の項目を選択する請求項 7 または 8 記載の方法。

【請求項 10】

各属性に重み付け値を関係付けて、第1の項目に関係する入力を受信すると、第1の項目に関係付けられた属性の重み付け値が増加し、より大きい重みを割り当てられた属性の項目が、より小さい重みの属性の項目よりも選択の可能性がより大きくなるように、進化基準を生成する請求項 9 項記載の方法。